

防災

を多様な視点から考える

～大切な家族を守るために知っておきたいこと～

毎年のように起こる自然災害。私たちはどのような準備をして、どう対処したらよいのでしょうか。災害時に発生する様々な問題は、個人、家族ごとで異なるため、防災を一律に考えるのではなく、性別、年齢などに配慮した多様な視点が必要です。あなたの気づきが大切な家族を守ることに繋がります。一緒に考えてみましょう。



第1回 9月26日(火)

13時30分から15時30分

「男女でこんなに違う 知っておきたい防災の話」

講師 齊藤容子さん（関西国際大学客員教授）

災害時には、災害の現場や家庭、避難所などで発生する困りごとや心配事は、男性、女性、子どもなど性別や年齢などによって異なります。どのような問題が起こり、それらの問題に備えるために必要なことは？ 一緒にお話を聞いて、考えてみましょう。

第2回 10月30日(月)

13時30分から15時30分

「みんなで考えよう！災害時に誰一人 取り残さないために必要なこと」

講師 服部育代さん（一般社団法人ほっと岡山代表理事）

防災への対応力を高めるためにはジェンダー視点からの対策を考えることが大切です。さんかく岡山制作パネル「誰一人取り残さないジェンダー視点で考える防災」を使って、具体的にどのような支援が必要かを考えてみましょう。東日本大震災の避難者の支援活動についてのお話もあります。

第3回 11月30日(木)

10時から12時

「家族の命を救うために 乳幼児の災害支援と 避難所での対応」

講師 日本赤十字社岡山県支部

防災の備えを考える際、乳幼児のいる家庭は特別な配慮が必要になります。いざという時に備えて救命措置を学んだり、避難所での過ごし方を考えたりして、子連れでも安心、安全な環境をつくっていくヒントを考えましょう。

* 大判のハンカチまたはバンダナ、ストッキング(使い古しのもの)をお持ちください。

◇対象 20名（3回ともご参加をお願いします）

地域で防災活動を行っている方や三世代家族など多様な人が暮らす家庭の方におすすめです。

* 第1回および第3回は、開講式および閉講式を行います。

【お申込み・お問い合わせ】

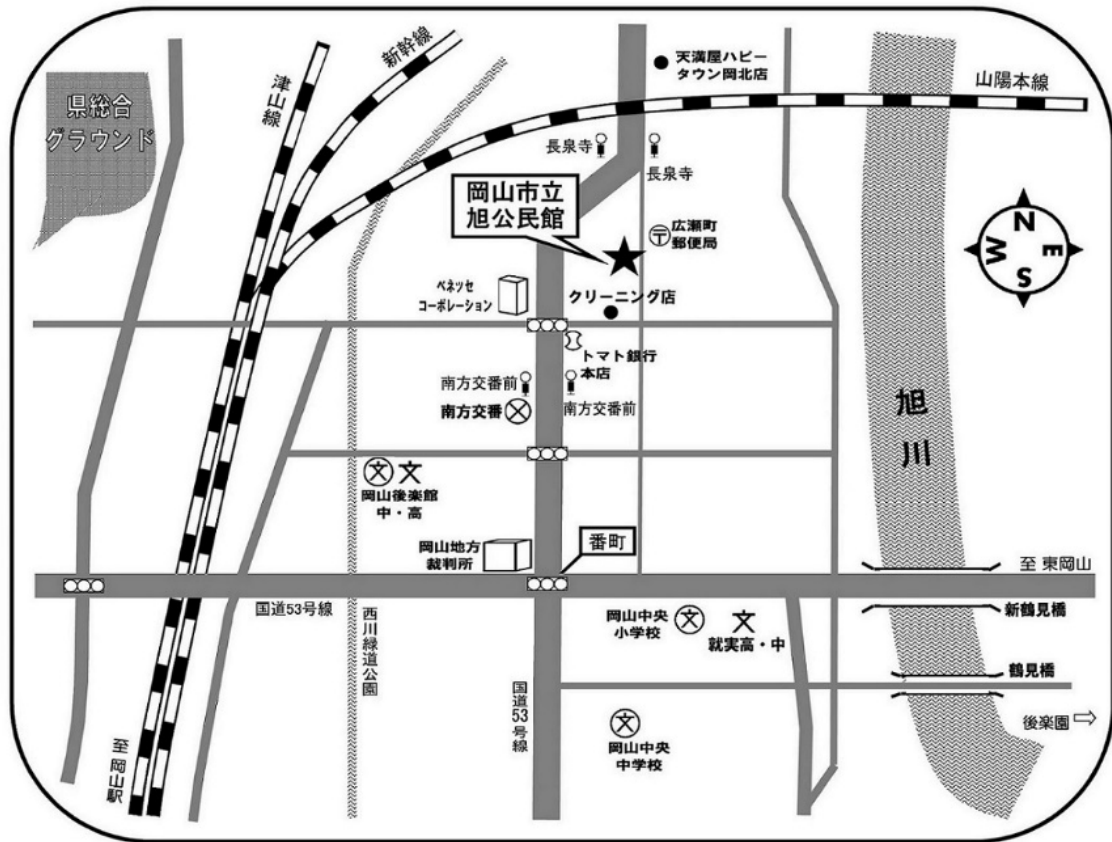
岡山市立旭公民館

休館日 水曜日・祝日

岡山市北区広瀬町3-26 tel/fax:(086)224-0515

E-mail:asahikouminkan@city.okayama.lg.jp

旭公民館周辺地図



※駐車場が大変狭いため、車での来場はご遠慮ください。

◆バスでお越しの場合（岡山駅から乗車できます。）

- ・宇野バス（美作線）
- ・岡電バス（岡山駅東口～妙善寺行き・三野公園行き・岡山理科大学東門行き）

いずれも「南方交番前」下車、徒歩5分または「長泉寺」下車、徒歩3分

■岡山市男女共同参画大学「さんかくカレッジ」基礎コースについて■

岡山市では、性別にかかわらず、自分らしく生きることのできる社会について理解を深め、その学習成果を地域・家庭・職場に還元することのできる人材を養成することを目的として、男女共同参画大学「さんかくカレッジ」を開催しています。

基礎コースは、地域の公民館との共催で、さまざまな身近なテーマから男女共同参画の視点を学びます。